



顎の骨が腐る病気をご存じですか？

【骨吸収抑制薬剤関連顎骨壊死】を正しく知ろう

歯科口腔外科 池畑 美紀子

～「骨吸収抑制薬剤」とは～

骨粗鬆症や乳がん・前立腺がんなどの骨転移の治療に有効性が高い薬として使用されるもので、多くの種類があります。その副作用として「顎骨壊死」が生じることがあります。顎の骨が腐るとはどのようなことでしょうか？

症状は痛み、顎が重い感じやしびれ感、歯肉の腫れや膿が出る、歯の揺れ・口臭などですが、痛みを伴わずに無症状に進行することもあります。進行すると病的に顎の骨が折れてしまうことや、ニキビのような穴が皮膚にできることもあります。

～大切なのは早期発見と早期対応～

骨吸収抑制薬の投与を受けていて、「口の中の痛みがなかなか治まらない」、「歯肉に白色あるいは灰色の硬いものが出てきた」、「あこが腫れてきた、下唇かじひれる」、「歯か自然に抜けた」このような症状が出た場合は、すみやかに歯科医師にご相談ください。

顎骨壊死は、口の中が不衛生な状態において生じやすいとされています。定期的に歯科を受診し、歯肉のチェックや歯石除去処置を受けるなど日頃のケアをきちんとすることがとても大切です。その際には、必ず骨吸収抑制薬の投与を受けていることを歯科医院に伝えるようにしましょう。

～終わりに～

当科では、主治医と連携を行い、これから骨吸収抑制薬を投与する患者さんに対して口腔内精査を実施しております。なぜ歯科を受診するの？その理由を少しでもご理解いただけたら幸いです。主治医の先生に骨吸収抑制薬を投与する前に歯科受診を勧められた際には、是非受診をしてください。

